

7年連続シード権獲得

総合8位

大混戦が予想された102回箱根駅伝。2026年1月2日8時、曇り気温5℃の東京・讀賣新聞本社前を21チームが一斉にスタート。

6年連続シード権を獲得して箱根常連校となったが今年は昨年の大エース吉田響が卒業、エース不在と言われた今大会。しかし、選手たちは「エースがいなければ自分がエースになる」という強い気持ちでレースを迎えた。スタートこそ出遅れたものの、それぞれの選手が持ち味を活かして往路は8位でゴール。復路もいきなり6区で小池莉希が区間賞で後を走る選手に勇気を与える。その後もそれぞれの選手が苦しい展開でも力走して総合8位で7年連続シード権を確定させた。

「箱根路で創花の大輪を！」の夢は来年に持ち越しになったが、夢は確実に次世代へ継承される。

往路 8位 5時間24分02秒

1区は戦前の予想を覆してハイペースのレース。黒木は第2集団で前をうかがうも15キロ過ぎで徐々に先頭から離されて14位で2区へ。ムチーニは8キロ横浜駅辺りから本来の走りを取り戻し、日大と並走しながら前を捕らえて7位まで押し上げた。3区織橋は昨年に続く箱根路、順天堂大と並走しながら前を追い、一旦は6位に上がるも最後は順天堂大に先着を許す。そして4区は期待の山口、しかし思うように順位を上げることができないまま追い上げてきた青山学院の後塵を拝し、8位に後退。山登りの5区、4年連続・最後の箱根となった野沢、懸命に前を追うが差は詰まらず往路は8位でゴール。

【榎木和貴監督 往路終わっての談話】

1区の黒木は、設定タイムをクリアして副キャプテンらしい走りです。2区はムチーニは2回目の2区。昨年の吉田響の走りが強烈な印象だったが、彼も1:06:00と設定タイム通りに力を出し切れた。3区の織橋も終始冷静な走り、予定タイムをクリアしてくれました。気象条件も良く例年になく先頭のタイムが良かった。4区の山口だけが予定タイムより遅れてしまった。本来なら山口のところで順位を押し上げる予定だったので、ちょっとそこが残念だった。5区の野沢は2回目の山登り。淡々と前を追って、しっかりと4年生らしい走りをしてください。

往路8位という結果で目標3位以内には届かなかったが、予想を超えるハイペースな展開だった。

復路 13位 5時間27分38秒

7位駒澤大学と1分02秒差で6区・小池がスタート。5キロ芦之湯、9キロ小涌園前では駒澤に次ぐ区間2位で通過、前との差を詰める。その後も快走を続け望たの区間1位で、7区石丸博那に襷を繋ぐ、前を行く順天堂大と並走しながら駒澤大を追う。二宮通過時点ではやや前とは離れたが、追う日本大学の追従を許さない。8位をキープして衣川へ。期待の1年生も単独走という難しい展開でも堅実な走りで粘り強い走りみせる。駒澤大と2分49秒差で勝負どころの9区へ。榎木はトライアスロンで培った脚力を活かして疾走。前後の差が大きくペース配分が難しい中、監督の激励にギアを上げる。8位を保ったまま最終区10区へ襷を繋ぐ。齊藤は7年連続シード権獲得を目指してゴールに向かう。そして次世代へ夢を託す襷を繋いでゴールに飛び込んだ。



復路ゴール



往路ゴール



【写真提供©Getsuriku】

5年連続

学生3大駅伝出場決定

全日本大学駅伝対校選手権大会

出雲全日本大学選抜駅伝競走



第102回 箱根駅伝総合順位

1位	青山学院大学	10時間37分34秒
2位	國學院大学	10時間40分07秒
3位	順天堂大学	10時間43分55秒
4位	早稲田大学	10時間44分29秒
5位	中央大学	10時間44分31秒
6位	駒澤大学	10時間44分50秒
7位	城西大学	10時間46分17秒
8位	創価大学	10時間51分40秒
9位	帝京大学	10時間53分15秒
10位	日本大学	10時間53分56秒

以上来年のシード校

11位	中央学院大学	10時間54分51秒
12位	東海大学	10時間55分01秒
13位	神奈川大学	10時間55分09秒
14位	東洋大学	10時間56分27秒
15位	日本体育大学	10時間56分42秒
16位	東京国際大学	10時間58分16秒
17位	山梨学院大学	10時間58分20秒
18位	東京農業大学	11時間01分12秒
19位	大東文化大学	11時間04分57秒
20位	立教大学	11時間05分58秒

箱根駅伝初出場以降の成績

創部1972年	大会	往路	復路	総合
2015年(平成27年)	91回	20位	20位	20位
2016年(平成28年)	92回	本大会出場なし		
2017年(平成29年)	93回	9位	13位	12位
2018年(平成30年)	94回	本大会出場なし		
2019年(平成31年)	95回	本大会出場なし		
2020年(令和2年)	96回	7位	9位	9位
2021年(令和3年)	97回	1位	5位	2位
2022年(令和4年)	98回	8位	6位	7位
2023年(令和5年)	99回	10位	4位	8位
2024年(令和6年)	100回	7位	7位	8位
2025年(令和7年)	101回	5位	11位	7位

創価大学陸上競技部は陸上競技チームとして、陸上競技部として創部は1972年。長距離部門は1980年から強化を行っている。